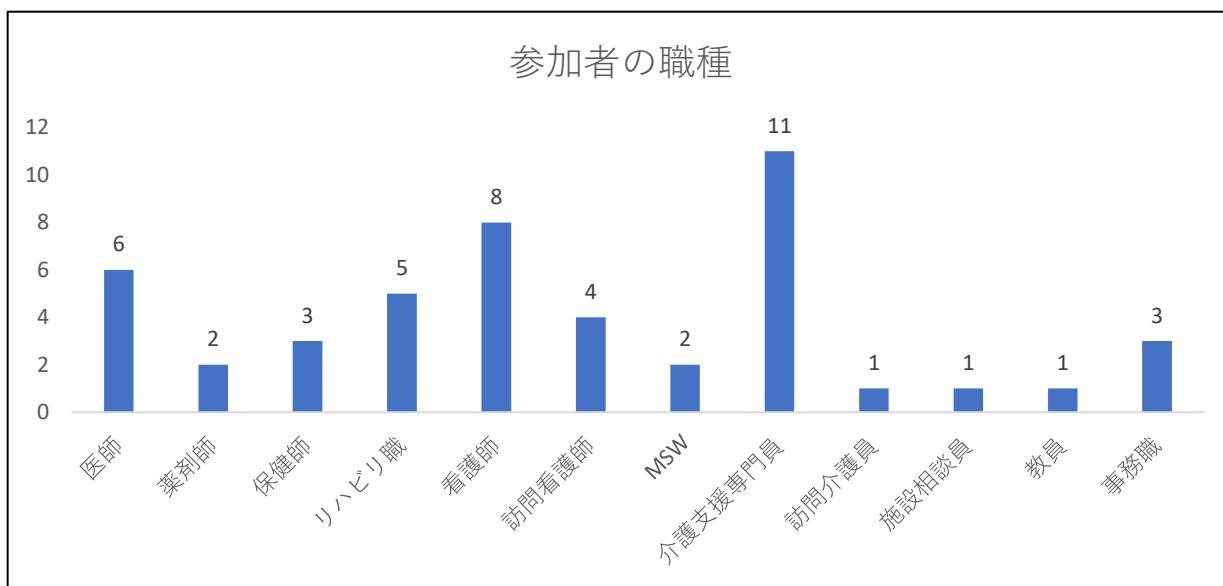


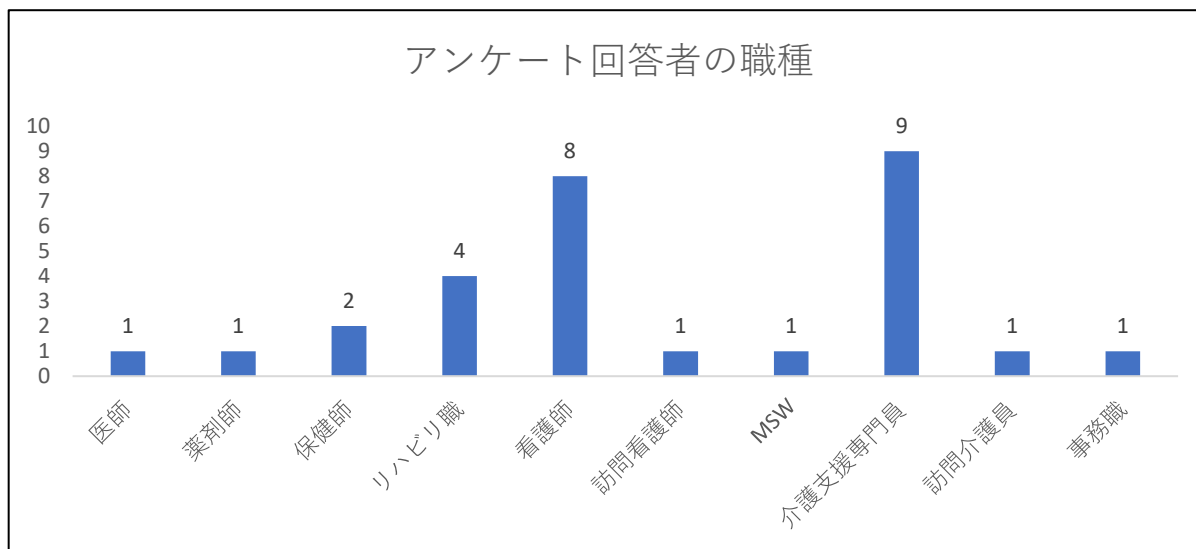
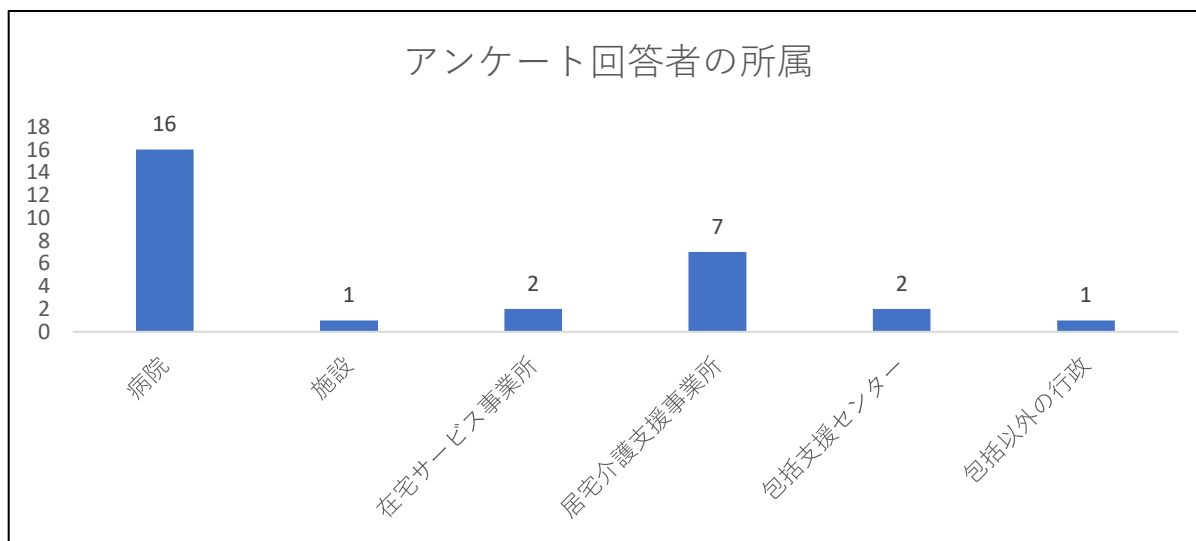
ACP 研修会(R5.1.18)の研修後アンケート集計結果

◆参加者の職種：参加者 47名

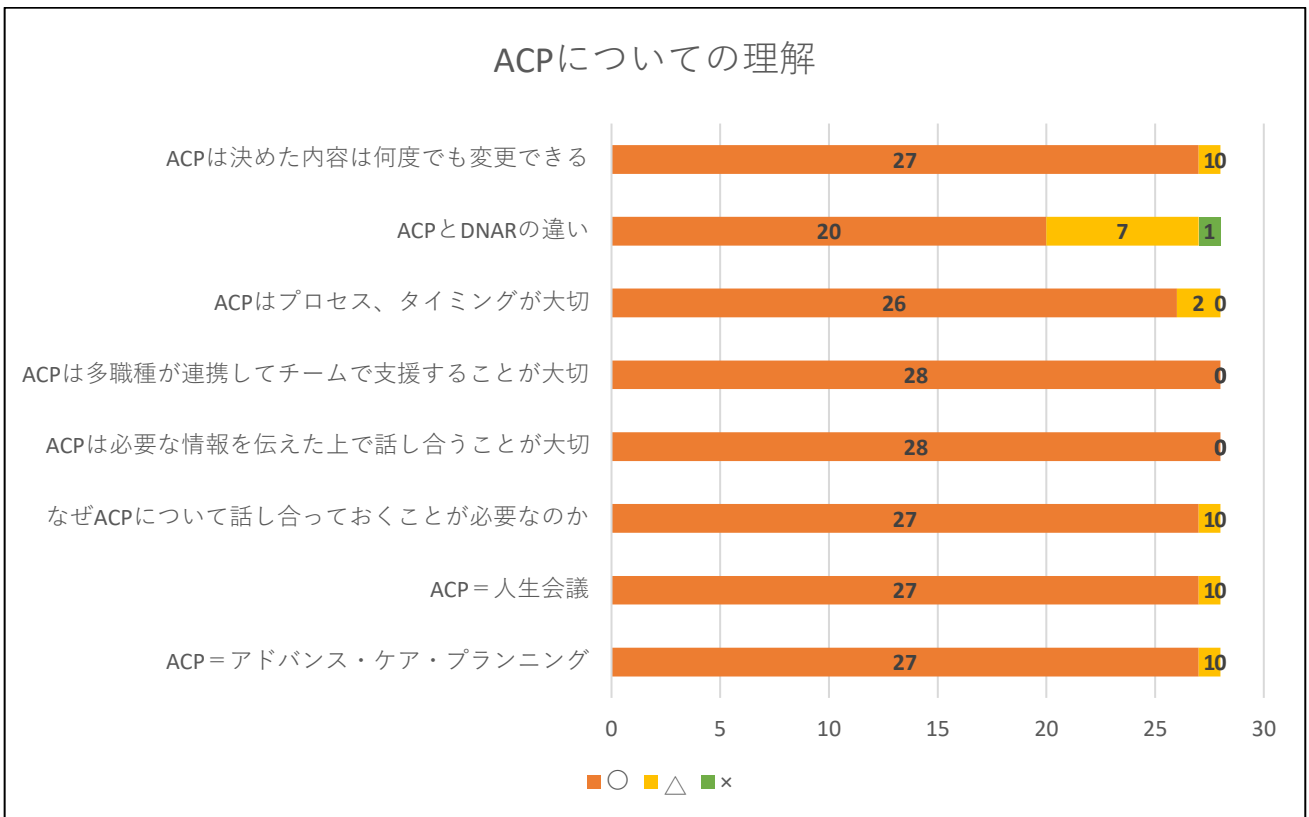


◆以下、アンケートの集計です。アンケート回収数：29

1 アンケート回答者の所属と職種

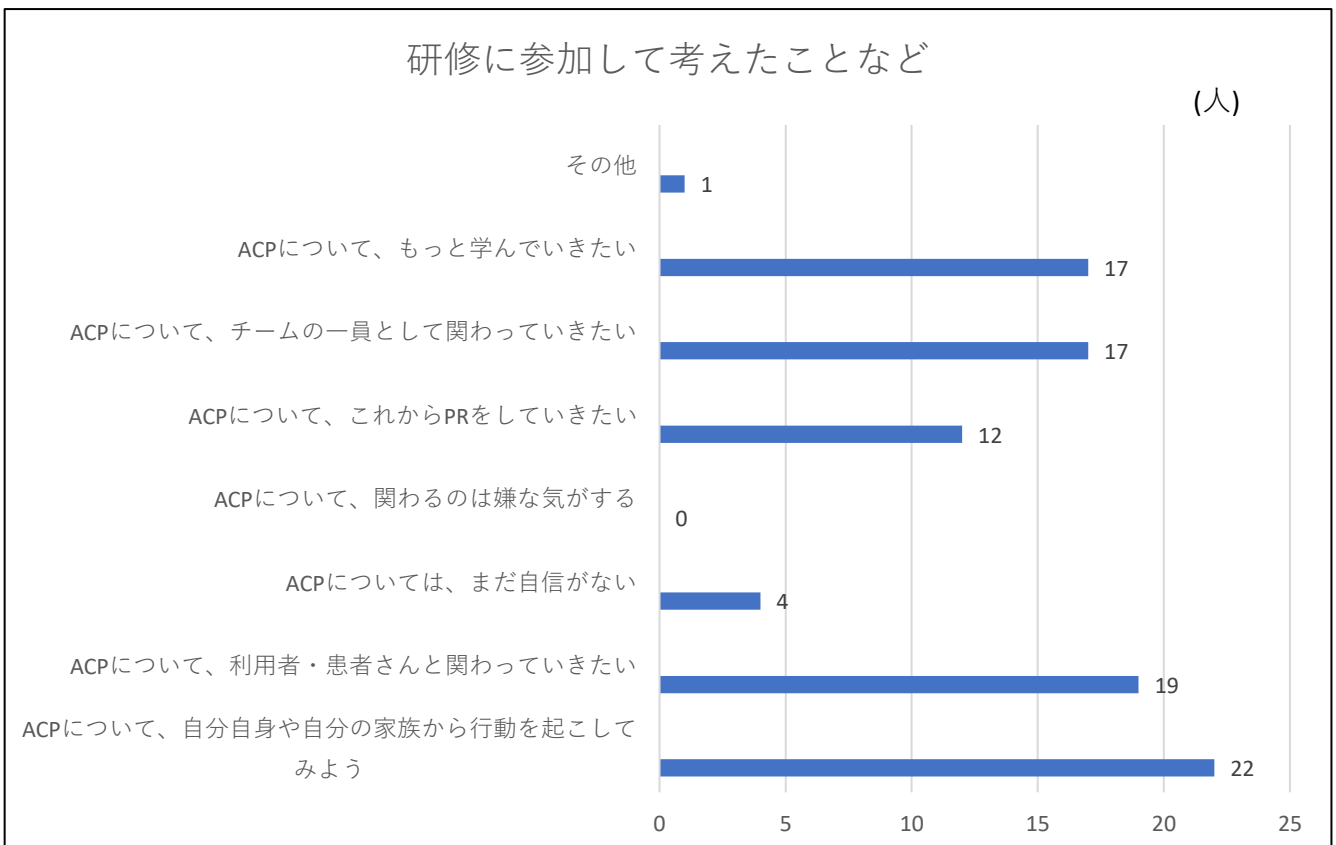


2 講演、グループワークを通して、ACP の内容について、「理解できている」は○、「今一つ理解できていない面がある」は△、「まだ理解できていない」は×のいずれか選ぶ。



※1名、未記入の方がいましたので、トータルが28名となっています。

3 研修会に参加して、考えたことなど。複数回答可。



◆その他と答えた方

- ・ACP と事前指示の区別がついてよかった。ACP は人生観などが関わり、難しいものだと改めて感じた。

3 講演の感想など

- ・ACP が何なのか全く知らなかったが、研修に参加させていただき、自分自身のこれからにとって大切なことであり、一人一人ができる限り自分の意に沿った最期を迎えられる様な文化が根付くことは、大変意義のあることだと感じた。
- ・病気になるとタイミングが難しくなるので、健康なうちから当たり前のこととして考えられる様、繰り返し啓発していかねばならないと感じた。
- ・新見市で共通する ACP、DNAR のパンフレットを作れたらと思った。病院の待合やコロナの予防接種の待ち時間に利用できたらと思う。
- ・先生の体験も伺いながらの研修内容で分かり易かった。まずは自分の ACP を考えていこうと思った。また、皆様の事前アンケート結果も興味がわいた。患者さんと ACP について関わっていく時に参考にさせていただこうと思う。
- ・急に話をするのではなく、小学校の頃から知っていて、話ができるような感じになっていたらいいのではないかと思った。自分も家族と話をしてみたいと思う。
- ・ありがとうございました。終末期に携わり、看取りをさせていただく中で、「この方はどんな人生を歩んでこられたのか」と考える。満足がいく最期を迎えられるよう、本人、家族、スタッフ、多職種との話を大切にしたいとさらに強く感じた。
- ・講演の内容がとてもわかりやすく、グループワークは話がはずんだ。それぞれの時期に ACP について考えておくことが必要。幼少期、青年期、老年期、病気が分かった時、いろいろなタイミングで考えていきたい。
- ・ACP ということを初めて聞いたが、講演でよくわかった。今後考えていかないといけないと思った。どのように普及するか、色々な意見が聞けてよかったが、各自が普及するよう努力する必要があると感じた。
- ・分かり易い講義で、理解しやすかった。活発な意見が出て楽しく参加できた。
- ・院内でもこういった研修を行い、スタッフのスキルアップや知識を深めていけたら良いと思った。
- ・とても参考になり、考えさせられる内容だった。自分や家族のためにもなった。また、医療従事者としては、他の地域での取り組み(全国や世界)を知りたいと思った。今後も勉強していきたい。
- ・分かり易い講演をありがとうございました。一般市民にはまだまだ浸透していない ACP という言葉ですが、まずは自分や家族から考えていこうと思う。
- ・まだ ACP について考えたことは今までなかったが、今回の講演により健康な時の意思から信頼できる人に伝えておくことの大切さを改めて考えさせられた。一人暮らしであるため自分の身に何かあった時、家族と会えず話ができないことがなきにしもあらずなので、家族ともしっかり話していきたい。
- ・講演では、分かったつもりの ACP について改めて深く考えることができたと思う。また、グループワークで異なる職種の方と違う立場で常々感じていることも話し合え、共通認識をもてたことはとても有意義だった。
- ・分かり易い講演で ACP について理解することができた。事例なども聞いて ACP について話し合っておくことは必要だと感じたが、自分が関わりとなると自信がなく難しいな・・という印象を持

- ってしまう。また、一般の皆さんにも ACP について知っていただくことが大切だと思った。
- ・今後も定期的に開催されれば参加したい。
 - ・わかりやすかった。渡辺病院が地域のために色々な取り組みをしているのがわかった。ACP は多職種と連携しなければと考えているため、病院と共に協力できるようにしていきたい。
 - ・皆様の出される提案に、ただただ感心するばかりだった。(私にはみつけれませんでしたから)訪問看護をしていると、帰宅時の状態が悪すぎて「家に帰ることだけ」が目標で帰って来られる方が多々見受けられる。とても ACP など話す雰囲気ではない。だから元気な時から ACP が必要だと思う。普及に努めることに協力したい。
 - ・在宅での生活を支えるケアマネとして、利用者さんと信頼関係を築いて ACP を行い、その方の望む最期のお手伝いできればと思った。
 - ・自宅で最期を迎えたい人の希望を叶えるためには、往診して死亡診断書を書いてくださる医師が必須だと思う。市民対象の ACP の普及が必要と思った。
 - ・事例を通しての話があり、良い勉強になった。毎回、研修では気づきがあり、学ぶことが多くあると感じている。
 - ・事例を入れて話をしてくださったので、分かり易かった。先生の体験談も聞いて共感できた。ACP は事例紹介をすることで伝えやすく、皆にも広がりやすいと思った。良い事例、悪い事例を聞きたい。
 - ・事例を聞いてよかった。
 - ・職種ごとにできる役割が違うと思うので、内容を具体的に知りたい。溝尾先生の ACP への熱意やお人柄がうかがえて、一緒にチームで取り組みたいと思った。参加者の皆さんもそれぞれ思いがあって、新見市、凄いかも…と思った。